

公民館等の防災・減災教育機能強化事業

「避難所運営セミナー 各会場」

※ 期日や会場などについては、本文を参照ください。

当センターでは、災害時に公民館等が避難所として使用される可能性が高いことを受け、避難所開設に関わるスキルアップをめざしながら、地域住民参加による自主防災組織などの協力体制の構築と「小さな拠点づくり」に寄与する公共施設としての役割を担えるよう支援することによって、公民館を中心とした地域づくりに資するために、「公民館等の防災・減災教育機能強化事業 避難所運営セミナー」（後援：青森県公民館連絡協議会）を開催しています。これまで全12会場中、6会場が終了しました。

第1回にあたる**全体会**では、青森県防災アドバイザー 瀧本 浩一 氏（山口大学大学院 創成科学研究科 准教授、消防庁 消防大学校 客員教授）による講演「来るべき災害に向けた公民館の役割 ～日頃の備えから避難所運営まで～」を行いました。その後、八戸会場を皮切りに、各会場では**HUG（避難所運営ゲーム）**（静岡県が開発した、テーブル上で避難所運営を疑似体験できるゲーム）を活用した実践的な演習を行っています。これまでの様子や参加者からの感想などをお知らせします。

【これまで開催したセミナーの期日と会場】

6 / 15	全体会	（青森県総合社会教育センター）		
6 / 28	八戸市	（八戸市総合福祉会館）	7 / 4	鯉ヶ沢町（鯉ヶ沢中央公民館）
7 / 18	弘前市	（弘前市民会館）	8 / 23	大間町（大間町総合開発センター）
9 / 6	むつ市	（むつ合同庁舎 旧館）		

【セミナーの様子】

避難所運営ゲーム（HUG）は、内容説明と参加者の自己紹介の後、ゲームに取り組み、最後に振り返りをする形で進められます。県防災士会の防災士の方に講師をお願いしています。

【① 内容等の説明】



阪神淡路大震災以降の実際の避難所について、どのように工夫が重ねられて進歩してきたかや、HUGのルールなどが説明されます。

ここでは、過去の災害現場や、避難所の写真も紹介されます。参加者は、中越地震など過去の大災害の様子を目の当たりにして、気を引き締める時間です。また、ゲームの説明を受け、心の準備をする時間でもあります。

【② 自己紹介】

HUGは、グループごとに取り組みます。この日、初めて会った方同士のグループなので、本格的に演習を開始する前に簡単に自己紹介を行います。講師から「自己紹介では、氏名、所属などのほかに、『好きな○○』を付け加えてください。」などのお題が出ることもあり、一気にメンバーの距離が近づきます。



【③ 演習】

いよいよ、カードを使って本格的に避難所運営の演習に取り組みます。カードは2種類に大別されます。1つ目



のカードは、避難者それぞれの年齢、性別、健康状態、被害状況などについて書かれているもので、これが大半を占めます。この避難者たちが架空の学校内でできるだけ良い環境で過ごしてもらうための具体的な作業内容や指示・伝達内容をメンバーで話し合っ決定していきます。また、もう1つのカード（イベントカード）は、役場の災害対策本部からの連絡や、避難している人からの要望・苦情などが書かれており、この対応も考えていくこととなります。どの会場でも始まると、参加者の皆さんの熱気で室温が上がってきます。



【④ 振り返り】

249枚のカードへの対応がすべて終わった後、課題となったことを情報共有します。教室の使い方一つとってもグループによって全く違った対応があり、一長一短があることがわかります。また、講師から、これまでの経験から得られたアドバイスも紹介されます。

なお、講師は「正解、不正解はありません。その時の状況や運営者の考え方で解答が変わっていきます。正解があるとすれば、このHUGでの対応が現時点での正解で、今後学んでさらに違う正解が生まれていく、ということになります。」とおっしゃっています。



【感想から】

- ・ 避難所に指定されている館に勤務しているので、今後の参考になった。
- ・ 避難所運営の要は受付時の情報把握だと思う。また、想定外を減らすための努力の積み重ねが大切だと思う。
- ・ いざというときに短時間で決断しないと問題が山積みになると思った。普段から公民館や職場での避難がどうあるべきなのか、考えていこうと思う。
- ・ 防災団体と避難所とが日頃から施設・設備の状況について情報交換を進めておく必要を感じる。
- ・ もう一度避難所の開設の訓練をしてみたい。
- ・ 事前準備の大切さを感じた。現場に戻ったら、周知したい。自分も災害時に避難所運営の手伝いをしたが、想定通りに行かないことや無理な要求等があり、苦労した。その当時は水道が使えて良かったが、より「悪い」状態の想定も必要だと思う。
- ・ 町会で参考にして実践してみたい。
- ・ 避難所運営に対し、その大変さと課題がよく感じられた。多くの人々の安全のために全員の協力が大切なのだと思う。
- ・ HUGを行ってみて「避難所運営は大変だ」という事が分かった。もし本番だったら「こんなものではないのではないか」と思う。自主防災会を組織してはいるが不安だ。町会・自主防災会の役割はどこまでなのか講習会があればよいと思う。

今後も、下記の日程で避難所運営ゲーム（HUG）を活用した各会場セミナーを開催していきます。事前のお申込みでどの会場でも参加できます。ぜひ御参加ください。（お申し込みは、青森県総合社会教育センター 育成研修課へ）

9/13(木)	今別町(今別町開発センター)	11/8(木)	野辺地町(野辺地町中央公民館)
9/19(水)	五所川原市(五所川原市中央公民館)	11/15(木)	三戸町(三戸町中央公民館)
10/30(火)	おいらせ町(おいらせ町みなくる館)	12/6(木)	青森市(青森県総合社会教育センター)

いずれの会場も、13:00～16:00 参加費無料